

前線に伴う降雨による防災情報(第4報)

最上川ダム統合管理事務所では、前線に伴う降雨により寒河江ダムへの流入量が洪水量200m³/sに達したことから、7月15日21時00分に災害対策支部体制を「警戒体制」に移行しました。

1. 出水の概要

最上川ダム統合管理事務所では、前線に伴う降雨により令和2年7月14日13時30分に災害対策支部を設置し「注意体制」に入っておりましたが、寒河江ダムの流入量が洪水量に達したことから、7月15日21時00分に災害対策支部体制を「警戒体制」に移行しました。

2. 管内ダムの現在の流入量(21時00分現在)

寒河江ダム：201m³/s

7月15日21時00分現在の寒河江ダムの状況は別紙のとおりです。

3. 今後の見通し

最上川ダム統合管理事務所管内では、降雨の状況から徐々に流入量が増加する見込みです。下流の河川では、今後の降雨の状況によっては、水位が急激に上昇する可能性がありますので、気象情報やダム情報に十分に注意してください。

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所

山形県西村山郡西川町大字砂子関158

副所長 サイトウ 齋藤 カツヒロ 克浩 (内線204)

調査課長 シバタ 柴田 トシアキ 敏明 (内線351)

電話 0237-75-2311(代表)

令和2年 7月15日 21時00分

寒河江ダム

ダム貯水位： 標高 386.43m

ダム流入量： 約201m³/sダム放流量： 約72m³/s (発電のための放流含む)

流域平均時間雨量： 1時間に 8.7mm (7月15日20時00分～7月15日21時00分)

流域平均累計雨量： 降り始めから 110.9mm (7月14日8時00分～7月15日21時00分)

